

**知れば知るほど
おもしろくなる能の魅力**

ユネスコから第1回世界無形遺産の指定を受けた能楽。初めてのの方は「難しい」と感じられる事も少なくありません。**初心者の方でも気軽に楽しんで頂ける「能」の入門講座が「まっちゃんサロン」です。**

国登録文化財の指定を受けた「山本能楽堂」を舞台に毎回異なる様々な能面や装束をご覧頂きます。

重要無形文化財総合指定保持者の山本章弘が、わかりやすく、楽しく「能」の世界にご案内します。

ユーモアを交えた楽しいお話に笑いが絶えず、リラックスしてお楽しみ頂ける、あつというまの1時間半です。

毎回違う能面や、美しい能装束もご覧頂きます。

1回ごとに完結する内容ですので、どなた様もお好きな回から、あるいはご都合のよい回のみご参加頂けます。

舞台に上がって頂いたり、声を出したり、色々な能の体験もできます。

昼の部には「抹茶と和菓子」、夜の部には「軽食とお茶」が付いており、どうぞお召し上がりになりながら、リラックスしてお気軽にご参加下さい。



初心者のための気軽な能入門講座

まっちゃんサロン

2012年11月5日(月)～2013年3月4日(月)

※各回とも30分前より受付開始 **受講料1,000円**

●場所 **山本能楽堂**

※能の体験講座で実際の能の上演はございませんこと、ご了承ください。

まっちゃんサロン

その1 第一線で活躍中のプロが講師!

第一線の舞台や海外でも活躍中の山本章弘が、毎回異なる曲目をテーマに、時代背景やあらすじをわかりやすくおもしろく解説。むつかしそうな伝統芸能「能」がとて身近なものになってまいります。



その2 能面や小道具、装束の解説もある!

「能面」や「小道具」「装束」にも深い意味がある。身近に見ながら、今まで気付きもしなかったことの意味を知れば知るほどに興味が高まってしまつから不思議。



その3 舞台に上がって体験もできる!

謡登場人物の台詞と地謡とよばれるコーラス部分の体験があったり、装束の着付けなど、楽しい初体験が待っています。



その4 昼の部はお抹茶とお菓子、夜の部はとん蝶とお茶でホッと一息。

昼の部には「抹茶と和菓子」、夜の部には「とん蝶とお茶」をご用意しています。

お気軽に召し上がりながら「能」の世界をお楽しみください。

※お昼の部に50名様以上ご参加の場合は、お抹茶と和菓子を愛護させて頂く場合がございます。



※お出しさせて頂いているお茶は「水と生きる」SUNTORYの御協賛です

■主催/公益財団法人 **山本能楽堂**

■後援/大阪府・大阪市・財団法人 大阪21世紀協会



国登録有形文化財
山本能楽堂
公式ホームページ

<http://www.noh-theater.com>

初心者のための気軽な能入門講座

まっちゃんやまっちゃんサロン

11月5日(月)

昼の部 14時～15時30分
夜の部 19時30分～21時

「小袖曾我」こそぞそが

日本三大敵討ちのひとつ、曾我兄弟の仇討ちにまつわる母と子の和解の物語

曾我十郎祐成と弟の五郎時致は、今度、將軍源頼朝が富士の巻狩りを行うというので、この機会に父の仇である工藤祐経を討とうと決心し、その暇乞いに母の元を訪れる。まず十郎が乳母の春日局に案内を求めると、母は喜んで対面するが、五郎には出家になれという母の命にそむいたと怒り、対面を許されない。十郎は兄弟揃ってこそその御狩り立だと説き、また五郎が箱根にいたころ、母の無事を祈り、亡き父の回向に心を尽くしていたことを言って取り成し、ようやく五郎の勘当は解かれた。母は兄弟の門出を祝して、酒宴を設ける。二人は母の情けもうれしく、兄弟そろって舞を舞い、尽きない名残を惜しみつつ、狩場へと勇んで出立するのだった。

日本三大敵討ちの一つとも呼ばれる曾我兄弟の物語で、敵討ち直前の話を扱った物語です。この「小袖曾我」の後の話を取り扱った能としては「夜討曾我」も存在します。同じ姿の兄弟役の演者が揃って舞を舞うことに人気のある演目です。



2012年11月5日(月)～2013年3月4日(月)

※各回とも30分前より受付開始 受講料1,000円

※「まっちゃんやまっちゃんサロン」は、能の体験講座で実際の能の上演はありませんのでご了承下さい。

1月14日(月・祝)

昼の部 14時～15時30分
夜の部 19時30分～21時

「子どもと能」

能における子方の役割とその魅力に迫ります

能には「子方」と呼ばれる、子どもが演じるための役が存在します。《鞍馬天狗》の牛若丸や花見の稚児たちのように、ストーリーの中で実際に年少の役である場合もありますが、一方で《花筐》などの天皇、《安宅》《船弁慶》などの源義経、《海土》の房前大臣など、実際には大人の役であるにも関わらず、子どもが演じる役となっているものもあります。能の家に生まれた子にとって、修行の階梯の一部ともなっています。世阿弥の著書「風姿花伝」の最初は「年来稽古条々」と題されており、年齢別の稽古のあり方を説いていますが、幼年期は能楽師としての基礎を作る重要な時期を見なされています。



12月3日(月)

昼の部 14時～15時30分
夜の部 19時30分～21時

「巴」ともえ

巴御前の亡霊が語る

木曾義仲の最期と無念の情

木曾の僧が近江の粟津へ着くと、社の前に若い女がいる。言葉かけると、これは木曾義仲を祭った社だから、同国人として経を手向けるように言って、姿を消す。僧が申していると、女武者が現れ、義仲に仕えた巴御前の霊だと名乗る。義仲が源頼朝の軍に敗走する際、馬ごと深田に踏み込んでしまい、動けなくなっていたところを、巴御前は松原まで助け連れて自害を勧め、巴も死出の供を願い出たが「汝は女なり」と許されなかった。そこにも敵の軍勢が迫ったので、長刀を振って追い散らして戻ると、義仲は既に最期を遂げていた。巴御前は悲しみつつも、義仲の形見を持って木曾へ下ったのだと物語り、申うように願って姿を消した。

女であるがゆえに、主君と共に死ぬことを許されなかった巴。女武者を主人公とする唯一の能です。



2月3日(日)

昼の部 14時～15時30分
夜の部 19時30分～21時

3月4日(月)

昼の部 14時～15時30分
夜の部 19時30分～21時

公益財団法人

山本能楽堂

お問い合わせは

〒540-0025 大阪市中央区徳井町 1-3-6

Tel:06-6943-9454 Fax:06-6942-5744

e-mail info@noh-theater.com

山本能楽堂公式ホームページ: <http://www.noh-theater.com/> 山本能楽堂ブログ「能楽堂の一日」(毎日更新!)

※ お出しさせて頂いているお茶は「水と生きる」SUNTORYの御協賛です

